

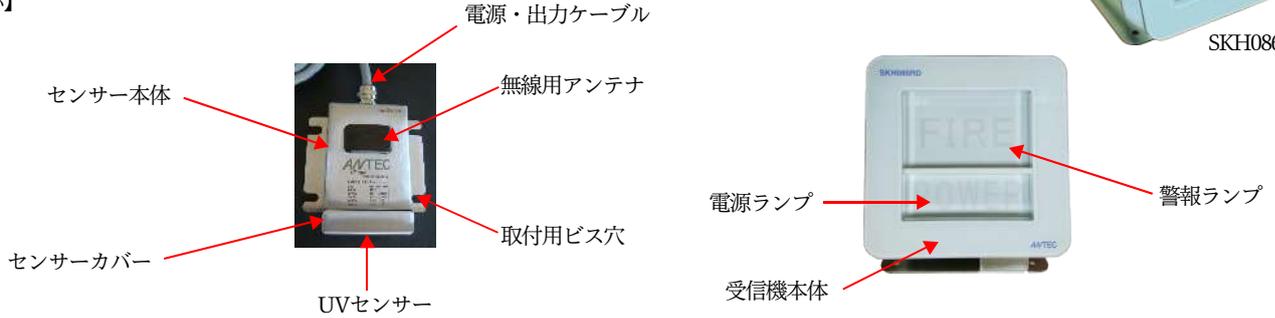
取扱説明書

【商品説明】

本商品は炎に含まれる紫外線を素早く検出して通報する、主に重機用に開発しました炎検出センサーです。出力はリレー接点の他、電波を利用し専用受信機で受信する2種類の出力を標準装備しています。耐震・耐熱性に優れ、完全防水構造です。



【各部の名称】



【取付方法】

(センサー本体)

- 取付用ビス穴を利用してセンサー本体をしっかりと固定して下さい。特に振動の大きい物についてはゴムシートを挟むなど、振動を吸収する事をお勧め致します。
- 電源・出力ケーブルを下記に従い配線して下さい。



赤色：電源 DC 1.2V～2.4V
 黒色：電源 GND
 白色：オープンコレクター出力(-200mA)
 緑色：出力用GND
 茶色：検出時間設定 (4sec) (茶色又は青色)
 黄色：検出時間設定 (8sec)

茶色 (OPEN) 黄色 (OPEN) の場合は 0.5sec
 茶色 (GND) 黄色 (OPEN) の場合は 4sec
 茶色 (OPEN) 黄色 (GND) の場合は 8sec
 茶色 (GND) 黄色 (GND) の場合は 12sec

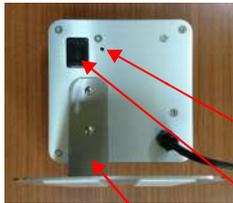
(受信機本体)

- 受信機本体底の両面テープを剥がし、受信機本体を固定して下さい。
- シガープラグをシガーソケットにしっかりと差し込んで下さい。

【動作確認】

- エンジンキーをACC又はONの位置まで回して下さい。
- 受信機本体の電源ランプが点灯。同時に『ピピッ』を音がする事を確認して下さい。
- センサー本体前に炎を近づけ、設定した検出時間以上そのままの状態を維持して下さい。
- 受信機の警報パネルが低速点滅すると共に『ビー、ビー・・・』と音がする事を確認して下さい。
(警報は炎を未検出になってから約30秒間維持して停止します。)

【センサーの増設】



設定開始スイッチ
 警報ブザー
 固定台

『IDの登録方法 (センサーの増設)』

- SKH086RDの電源を切ります。
- 本体裏面の設定開始スイッチを押しながら電源を入れます。
 (設定開始スイッチはパネルの中にありますので細い棒で押さえて下さい)
- 登録させたいセンサーに炎を検出させてセンサーのIDを送信させて下さい
- SKH086RDの電源を入れ直します。
- 登録したセンサーにもう一度炎を検出させ、SKH086RDの警報ランプと警報ブザーが鳴ることを確認して下さい。
- IDの最大登録数は64台です。

『IDの消去方法』

- SKH086RDの電源を切ります。
- 本体裏面の設定開始スイッチを押しながら電源を入れます。
 この状態を3秒以上維持して下さい。
- 全てのIDが消去されます。尚、特定のIDのみを消去する事は出来ません。

【仕様】

(センサー本体)

寸法 W53mm × D84mm × H26mm
 重量 350g (ケーブルは含まません)
 材質 SUS304 (一部ベークを使用)
 耐熱 100℃ (最大定格115℃)
 電源電圧 DC12V ~ DC24V (逆接続防止回路内蔵)
 消費電流 待機時20mA 検出時50mA (DC12V 供給時)
 出力 無線出力 350MHz帯微弱電波 (ID管理機能内蔵)
 出力 リレー接点
 抵抗付加 (AC125V 0.4A DC30V 2A)
 誘導付加 (AC125V 0.2A DC30V 1A)
 検出感度 約2cmの炎を5m先で検出
 検出範囲 左右90° 上下30°
 検出時間 0.5sec・4sec・8sec・12sec (4段階)

(受信機本体)

本体寸法 W108mm × D108mm × H27mm
 重量 250g
 材質 ポリカーボネット/アルミ
 電源電圧 DC12V~DC24V
 消費電流 待機時 25mA 炎検出時 150mA (DC12V供給時)
 受信周波数 315MHz (特定省電力タイプ)
 ID認識方式 (最大64IDを登録可能)

(注意事項)

本商品は紫外線 (UVC) を検出する事で火災を判断しますが、人工的に発生させられる紫外線の影響を受ける場合があります。重機の場合は移動しますので作業環境が常に異なる事が予想されます。誤報を防ぐ為にも検出時間は4秒以上の設定でご使用いただきます事を推奨致します。尚、人工的にUVCを発生する物としては次のような物があります。

- ハロゲンランプの一部
- 水銀灯などの放電灯の一部
- 殺菌灯
- 電撃殺虫灯
- 溶接時の火花
- 電気スパーク
- 雷による放電
- 高電界がかかった場合